

日本化学会 第99春季年会 英語講演へのファーストステップ

2019年3月18日（月）

於: 甲南大学 S4会場（5号館1階511教室）

魅力的なプレゼンテーションのための はじめの一歩

—上達のコツはプロソディにあり—

神戸大学 大学教育推進機構
国際コミュニケーションセンター
大和 知史（やまとかずひと）

yamato@port.kobe-u.ac.jp

確認

●お手元の配布資料をご確認下さい。

1. 配布資料 1部

2. 参考資料 1部 (表現集+野口・幸重 (2007)
の表現リスト)

acknowledgment

・本セッションの内容は、JSPS科研費26381197と17K04778の助成を受けた研究
(共同研究者 磯田貴道@立命館大) を基にしています。

0. はじめに の前に

- 自己紹介にあるように、専門分野は、英語教育で、その中でも音声指導・発音指導になります。
- ですので、自分の専門分野の側面からどのようなことができるのか、普段英語を教えている中でどういうことをやっているのか、という形でお話できればと思います。

0. 本セッションで伝えたいこと

- 今回のセッションを通じて、参加者の皆さんに、伝えたいことは次の通りです。
- まず、想定する英語プレゼンの方式は、「**発表原稿を事前に準備して、それを読む方式**」です。
- その際、「**棒読みにならずに**」・「**相手に内容をきちんと伝える**」ために、「**どんな風を読むと英語らしく響くか**」をお伝えします。
- また、「**普段できる練習方法は何か**」を紹介し
ます。

0. 本セッションで伝えたいこと

- そんな目的を達成するために、本日は、以下の流れでお話ししたいと思います。
 - 1.はじめに
 - 2.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）
 - 3.普段からできる練習は？
- では、始めていきましょう！

本セッションの構成

1.はじめに

2.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

3.普段からできる練習は？

1. はじめに

- プレゼン英語の特徴を知る
 - 書き言葉（論文の英語）と話し言葉の中間
 - 「主語はweやIやyouを使うことが多く、その一方で、動詞の選択においては、例えばgetという話し言葉ではなく、obtainやacquireといった書き言葉を選ぶ傾向にある」（野口・幸重, 2007 p.75）
 - 参考資料①～③を眺めてもらっても、書き言葉と話し言葉の分布が見えてきます。

1. はじめに

- プレゼンに至るプロセスのお話や表現集などについて
 - 発表の申込から，草稿・スライド等の準備，発表実行，質疑まで（野口・幸重, 2007）
 - アカデミックだけでなくビジネスプレゼンやTEDのようなプレゼンも含めてのプロセス全体（田中, 2014）
 - プレゼンのみならず，アカデミックフィールド全体で英語を使って過ごすにはどうするか（オンライン学習：東京大学 English Academia 1と2）
 - その他，書籍等はたくさん出ています。

1. はじめに

- 「プレゼン原稿（スクリプト）を作って」, 「読む」から「言う」・「発表する」へ
 - 音読→朗読（青谷, 2017）
 - 音読）自分の分からないところ分かる
 - 音読）自分の声に慣れることができる
 - 音読）正しい英語が頭と体に染み込む
 - 朗読）聞き手や状況に合わせた伝え方ができるようになる
 - 朗読）文章の意図や背景を正しく理解して伝えられるようになる
 - 朗読）表現力がつく
 - リハーサルの重要性（アンダーソン, 2016; 田中, 2014 他, ほぼ全て）→どんなスピーチ・プレゼン・演説も練習なしではない

1. はじめに

- 「プレゼン原稿（スクリプト）を作って読む」から、「～を言う」・「～を発表する」へ
 - この段階を経る上で、音読の重要性、朗読の重要性を理解していただきたいと考えています。
 - 本セッションでは、原稿を準備して、それを読む上で、どういうところに気を配れば相手に理解されやすい発表ができるか、を考えます。
- それでは、どういうところに、どう気を配るかを考えていきましょう。

本セッションの構成

1.はじめに

2.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

3.普段からできる練習は？

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 3 Minutes Thesisの Asia Pacific Finals 2018 のイントロ部分でトライ

- 手順：

- 1) 原稿を読む

- 2) どう読むかを考える

- 3) ペアで読んでみる（プレゼン実施の体で）

2. まずはやってみよう！

- **タスク1： 3 Minutes Thesisの Asia Pacific Finals 2018のイントロ部分でトライ**
 - **いかがでしたか？**
 - **原稿（に近いもの）を読み上げる形式は、普段の研究発表でよくあることかと思います。**
 - **では、読み上げるにしても、どこをどんな風に気をつけなければいいのでしょうか？**
 - **その際、プロソディが鍵になります。これから、その鍵を概説します。後ほど、それらを踏まえて、再度読んでみることにしましょう。**

本セッションの構成

1.はじめに

2.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

3.普段からできる練習は？

2. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

- 原稿を音読・朗読する上で、「**プロソディ**」に気を配ってみましょう。
- なぜでしょう？
- 英語の発音には、子音や母音の**分節音素**と、アクセント・リズム・ストレス・イントネーションといった**超分節音素（プロソディ）**があります。
- もちろん両方うまくなることが理想ですが、「**英語らしさ**」を得るには、**プロソディ**について知ること、練習するとよいとされています（Derwing and Rossiter, 2003）。

2. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

- 「プロソディが鍵！」と、ではどうしたらいいものか...
- その際、**「プロソディの3つの原則」**を枠組みとして提案しています。
 - この原則を用いることの利点は以下の通りです。
 - プロソディ要素を相互関連した形で読むポイントを確認できる
 - 英語らしさを向上させることができる
 - これからも自学で確認ができる
- ではそれらの概要を確認することにしましょう！

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 提案する「英語プロソディの3つの原則」（配布資料p.2）とは...

1.母音のあるところに拍がくる

2.拍が2つ以上になれば、強弱を（メリハリを）

3.強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる

- 「自分で読む・言う際の行動指針」として活用してください

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 各原則を簡単にみていきましょう
 - 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - 原則② 「拍が2つ以上になれば、強弱を」
 - 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - この原則は、**「音節」**・**「音節構造」**のお話
 - 音節：「リズムの1拍やひとつの強勢を受けられることのできる、音の最小のまとまり（松坂, 1986, p. 165）」 「母音を中心として前後に子音を伴う単位（牧野, 2005, p. 27）」
 - 音節構造
 - V, CV, CVC, VC の組み合わせ
 - CCCVCCCC strengths 

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - 「音節」・「音節構造」について、日本人英語学習者は何が問題？
 - CV構造が基本の日本語に、CCの子音連結を発することの困難さ。Vを挿入してしまう。
 - 挿入されたVが余分な拍となり、聴者の認識を妨げる。
 - どれにしようかな *eenie meenie miney moe ...*
 - ストレングス *strength* ストライク *strike*
 - アルミニウム *aluminum*

「英語プロソディの3つの原則」の概要

●原則①の練習例

1. わざと変に言う（原則①・②）

- 日本語を英語っぽく言う・英語を日本語っぽく言うことで、各言語の音節・強勢・イントネーションの違いを体感する。
- 例) 岡崎体育の「冷蔵庫にはってあるやつを英語っぽく言う」
(昔ならタモリの4カ国語マーじゃん?)

2. ハミング（原則①・②）

- 単語や文を鼻歌のようにハミングで読む。余計な母音が入ると拍数が増えてしまうので、拍数に注目する。強弱をつけるには強勢拍を長くする。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - さきほどの3 Minute Thesisの中にあった単語の音のカタマリはどうなっていますか？
 - protein
 - ●
 - molecular
 - ● ● ●
 - chaperone
 - ● ●
 - Alzheimer's
 - ● ●
 - diabetes
 - ● ● ●
 - ご自身の専門領域の専門用語などではいかがでしょうか？

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 各原則を簡単にみていきましょう
 - 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - 原則② 「拍が2つ以上になれば、強弱を」
 - 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則② 「拍が2つ以上になれば強弱をつける」 (メリハリ)
 - この原則は, 「語強勢 (語アクセント)」から「句アクセント」, 「リズム」を経て「文アクセント」のお話
 - 多音節語であれば, それぞれの音節が, 第一アクセント, 第二アクセント, 弱アクセントのいずれかを担うことになる。 (e.g. ba-NA-na, u-ni-VER-si-ty, PRO-tein,)
 - 第一アクセントにおいて, ピッチの動きが**大きく, 長く, 強くなる**。 (e.g. com-mu-ni-CA-tion, mo-LE-cu-lar)
 - 語が複数並ぶと, 語と語の間で強弱の組み合わせができる。 → 「句アクセント」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則② 「拍が2つ以上になれば強弱をつける」

- 句から文になった場合，文中のある語（の中の音節）は強いアクセントを受け，ある語は受けない。
→ 「文アクセント」

en gi NEER in the END He can HEAR



- 主にアクセントを受ける語→内容語（名詞・動詞・形容詞・副詞）
- 受けない語→機能語

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則② 「拍が2つ以上になれば強弱をつける」

- 文中に強弱の組み合わせができる→「リズム」

- one, two, three, four, five, six, **seven**, eight, nine, ten,



eleven, twelve



- **Eenie**, **meenie**, **miney**, **moe**.



- examinee → in case of rain → I tried to study very hard.

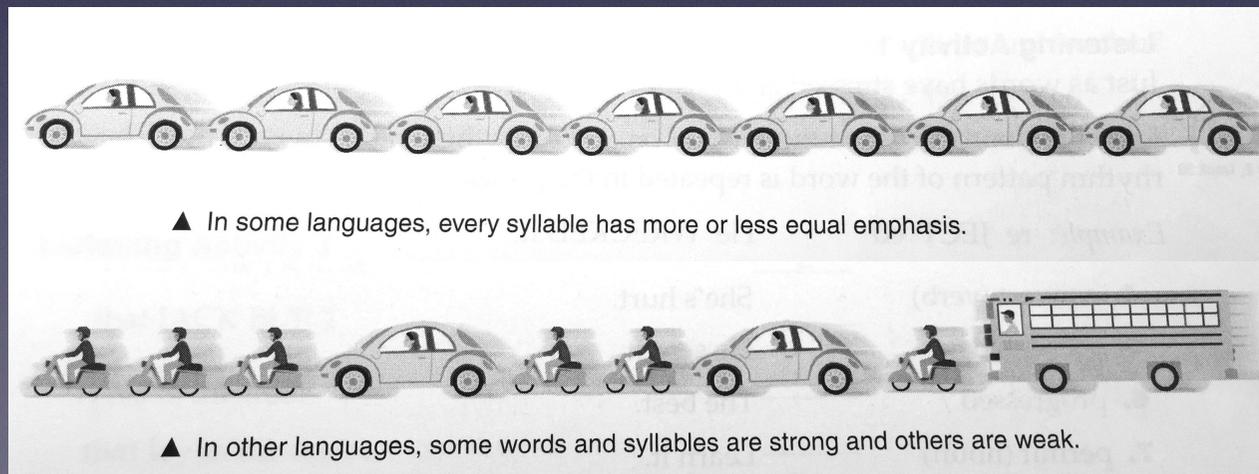


(齋藤, 2008, p.33; 竹林・清水・齋藤, 2013, p.136-137)

「英語プロソディの3つの原則」の概要

• 原則② 「拍が2つ以上になれば強弱をつける」 (メリハリ)

- 「語・句アクセント」・「リズム」・「文アクセント」について、日本人英語学習者は何が問題でしょうか？
- 「語アクセント」において、強く発音するようにと教えられていることが多く、高さや長さについては十分に注意を払うことができていない。
- アクセントに等時性のある英語において、モーラに等時性のある日本語の影響を持ち込んでしまう。(英語に日本語のリズムを持ち込む)



「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則② 「拍が2つ以上になれば強弱をつける」 (メリハリ)
 - 文中に強弱の組み合わせができる → 「リズム」
 - **What comes to mind when you hear the word “protein”?**
 - **Some of us here would probably be thinking about food.**
 - **But there are so much more to protein.**
 - **In fact, we are all made out of proteins.**
 - **We are life because our proteins are working hard but our proteins can only work if they are folded into the correct shape.**

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 各原則を簡単にみていきましょう
 - 原則① 「母音のあるところに拍がくる」
 - 原則② 「拍が2つ以上になれば、強弱を」
 - 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」
 - この原則は、「*thought group*」・「音調核（とその配置）」・「トーン」のお話
 - 語・句・文アクセントを受け、リズムを形成した発話に更に情報が加わる。

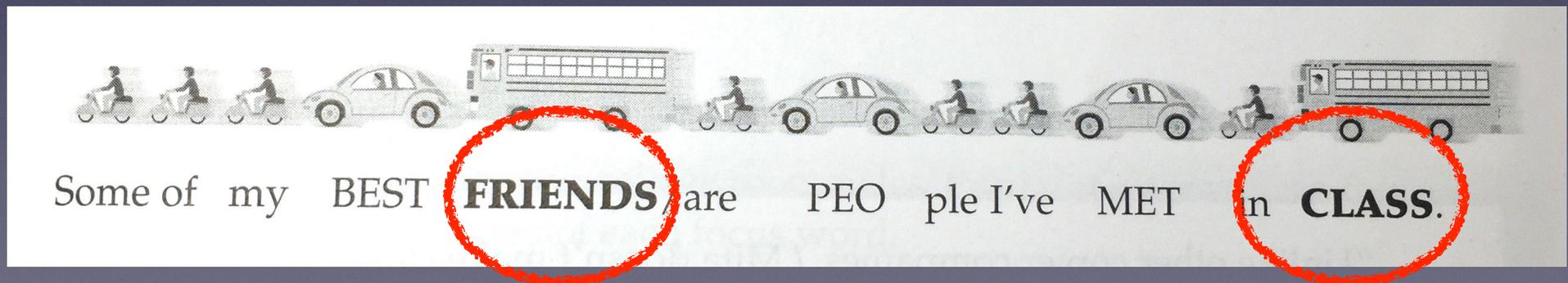
「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」
 - 文アクセントやリズムにおいて、強アクセントを受ける語・音節があることは明らかになっている。
 - 一連の発話は、短い文や節などをひとかたまりと区切ることができる。この区切りのことを、「*thought group*」という。
 - 区切りはおおむね一息で言える程度、つまり一文やコンマまで、とおおざっぱにはとらえておきましょう。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」

- そこに含まれる第一アクセントを含む語群の中でも、最後に現れるものが最も目立つ傾向にある。目立たせる方法は、その音節においてピッチを大きく変動させること（音調核）。



(Grant, 2010, p.103)

「英語プロソディの3つの原則」の概要

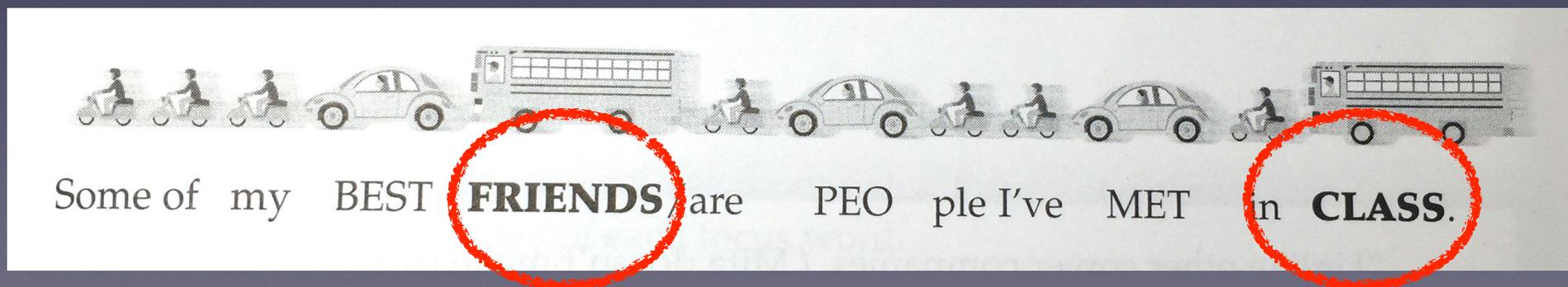
- 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」
 - ピッチの変動には、上昇と下降、その組み合わせと平坦がある。
 - この領域において、日本人英語学習者は何が問題？
 - 目立ちの配置（核配置）を誤りがちである。多くの場合、*thought group*の冒頭に置きがち。これによる情報の焦点の誤解が生じる可能性がある。
 - ピッチの動きについて、句末の急激な変動で意図を伝達しようとする傾向に。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③ 「強い拍が複数になれば、その内の一つを目立たせる」
 - 区切りの最後の内容語を目立たせる。
 - *What comes to mind when you hear the word “protein”?*
 - *Some of us here would probably be thinking about food.*
 - *But there are so much more to protein.*
 - *In fact, we are all made out of proteins.*
 - *We are life because our proteins are working hard but our proteins can only work if they are folded into the correct shape.*

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- ここで「3つの原則」を振り返ってみましょう。
- 語・句・文と範囲が広範囲になっても、アクセントの配置など、内部構造は本質的には変わらない。
 - 「英語の『一点豪華主義』的な発音」 (町田, 2017)
 - 「日本語はたんたん, 英語はメリハ〜リ」 (静, 2019)
- ココ (↑) が日本語とは大きく異なるところです。



(Grant, 2010, p.103)

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- ここまで見てきた、「3つの原則」ですが、最初に音読を試した3MTのイントロも、この枠組みで考えてみるすることができます。
- 見返してみましよう。
 - どの単語が言いにくいですか？（原則1・2）
 - どの単語が目立ちますか？（原則2）
 - どのように区切れますか？その区切りの中の、どこが目立ちますか？（原則3）
- 次は、それを考えて、もう一度自分の音読を振り返ってみましよう。ペアで読んでみて、どう響くかを確認し合ってみてください。
- また、野口・幸重（2007）の例でも試してみましよう。更には、ご自身の発表原稿でも試してみてください。

本セッションの構成

1.はじめに

2.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

3.普段からできる練習は？

3. 普段からできる練習は？

1. 今回の「3つの原則」を使って、スクリプトを作ったら考えて、それをリハーサルする。←今ココ

2. 分かりやすく言い換えるために... “Mystery Words” の練習

3. とにかくペアでしゃべるために... “One Minute Chat” の練習

4. 図表を描写するために... “写真で1分” の練習

3. 普段からできる練習は？

1. 今回の「3つの原則」を使って、スクリプトを作ったら考えて、それをリハーサルする。

2. 分かりやすく言い換えるために... “Mystery Words” の練習 ← これもある

3. とにかくペアでしゃべるために... “One Minute Chat” の練習 ← これもある

4. 図表を描写するために... “写真で1分” の練習
← これもある

3. 普段からできる練習は？

Mystery Words

3. 普段からできる練習は？

- **Mystery Words** (普段の授業だとこんな感じですよ)
 - *paraphrasing activity with your partner*
 - 制限時間内に説明が相手に伝われば着席
 - *avoid* 固有名詞
 - *avoid gestures*
- 自分の成長のバロメータとして。

3. 普段からできる練習は？

presentation

- 上の英語を自分の言葉で
*paraphrase*すると？

3. 普段からできる練習は？

presentation

- 英英辞書だとこんな定義で説明されています。
- presentation ... is “the act of showing something or of giving something to somebody.” (Oxford Learners’ Dictionary)
- presentation ... is “an activity in which someone shows, describes, or explains something to a group of people.” (Merriam Webster Learner’s Dictionary)

3. 普段からできる練習は？

chemistry

- 上の英語を自分の言葉で
paraphrase (言い換え) する
と？

3. 普段からできる練習は？

chemistry

- 英英辞書だとこんな定義で説明されています。
- **chemistry... is “the scientific study of the structure of substances, how they react when combined or in contact with one another, and how they behave under different conditions” (Oxford Learners’ Dictionary)**

3. 普段からできる練習は？

One Minute Chat

3. 普段からできる練習は？

• One Minute Chat

- ペアによる対話活動
- 1分間ペアであるトピックについて話し続ける活動
- 消しゴムか何かをターンテイキングの印に使って（できるだけたくさんターンを取るように）
- あとで、何が言えて、どうすればより良かったか、などを振り返る

3. 普段からできる練習は？

Today's Topic:

***If you could change one thing
in your past, what would it be?***

とにかく簡単な話題で、1分話し続けてみましょう

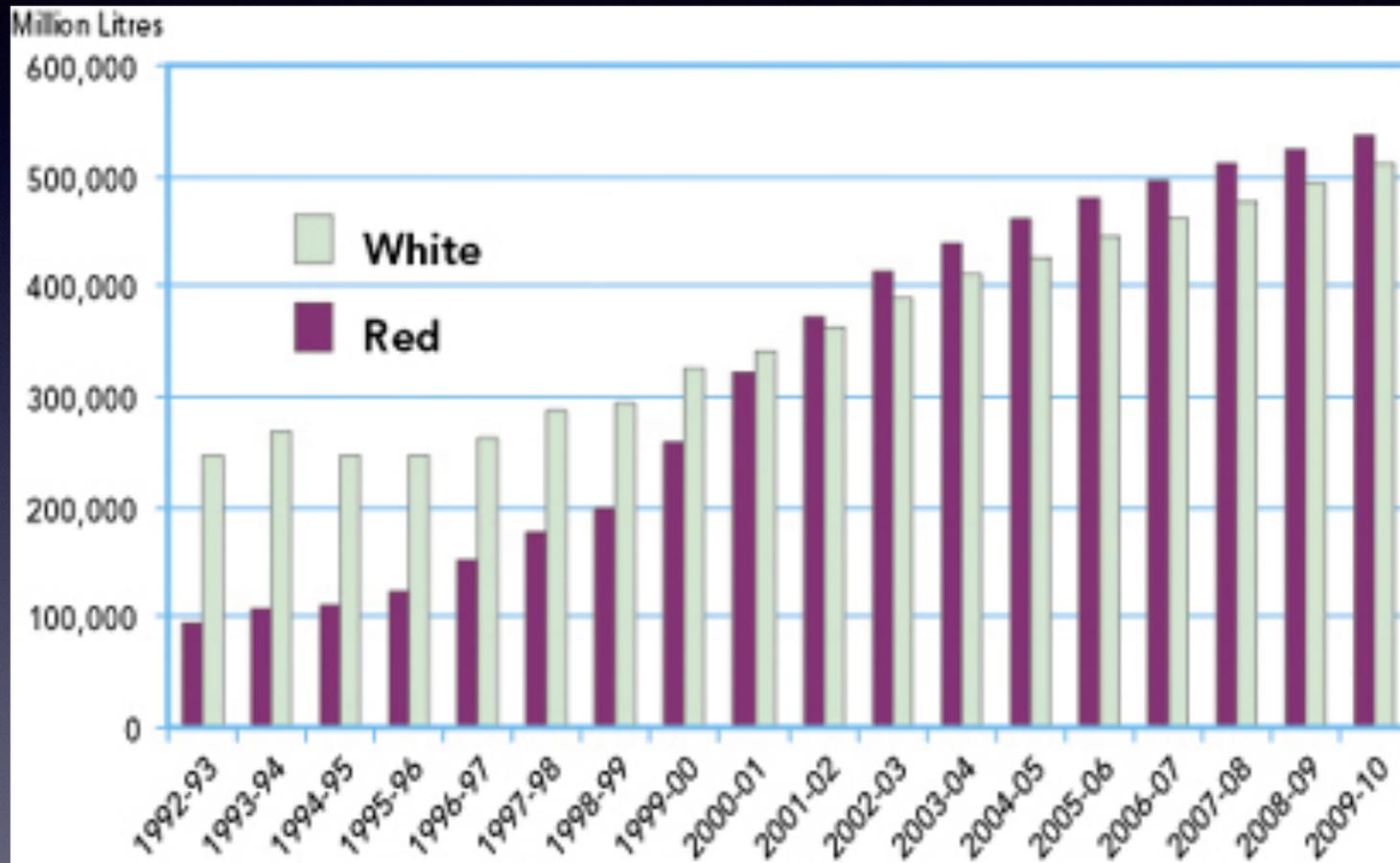
3. 普段からできる練習は？

• 写真で1分 (IPPON GRAND PRIX的な)

- 写真として出されるデータについて、1分間で描写する活動
- 何を表しているのか、それがどのように変化しているのか、などを、想像で補完しながら描写
- あとで、何が言えて、どうすればより良かったか、などを振り返る

3. 普段からできる練習は？

写真で1分



<https://goo.gl/images/cfERmm>

タイトル・内容は想像で

3. 普段からできる練習は？

写真で1分



<https://goo.gl/images/a7cbsh>

タイトル・内容は想像で

3. 普段からできる練習は？

- 言い換え練習としての“Mystery Words”とターン数を多くとるための“One Minute Chat”を、図表の描写を練習するための“写真で1分”を試してみました。
- 1つ目は、**専門用語や概念などを分かりやすく言い換える練習**として、さまざまな単語で試すことができます。
- 2つ目は、**質疑やポスタープレゼンなど、即興性が求められる場での瞬発力の養成**として練習を行うことができます。
- 3つ目は、**図表の描写、などはスライドを説明する際に必要**となりますので、その表現を定着させるために練習できます。
- 是非、日々の取組みの中に取り入れてもらえればと思います。

まとめ

- 今回のセッションを通じて、参加者の皆さんに、英語プレゼンについて、
 - 最初の一歩として原稿を準備して、
 - まずはそれを分かるように読んで、内容をきちんと伝えるにはどうするとよいか、
 - 普段の練習はどんなことが良いか、
- を分かってもらうことを目的としていました。

まとめ

- 終わった現在、皆さんが、プレゼンテーションの準備をしている際に、
 - 準備をした原稿を、プロソディに注意して分析をし、どのように読めば、内容が聞き手にきちんと伝わるのか、
 - また、どのような練習をすればよいのか、
 - その他にどんな練習ができるか、
- を理解していただき、今後の発表の機会の際には、是非そのようにしてもらえるとありがたいです。
- 更に、その結果などをフィードバックして下さると、こちらとしては更にありがたいです。
- ご意見・疑問等ございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さいませ。